

### 菅生地区倒木処理



凜とした風が気持ちのいい冬。なだらかな散策路を、野鳥の声を聞きながらのんびりと歩きたい・・・。

そんな時、皆さんはこのような道(左上写真)を歩きたいと思いませんか？目の前には倒木、そして先に見えている木は、今にも道に倒れてきそうです。

私たち森林レンジャーは日々、市内の散策路をパトロールし、危険箇所の点検や道に倒れて通行の妨げとなる木を除去し、ハイカーが安全に楽しめるよう整備を行っています。

先日、菅生で散策路上の倒木処理(左下写真)を行いました。ここはアップダウンの少ない散策路が続く、地区を囲む丘陵を一周できるコースがあります。今後は、菅生地区の方と協働で道の整備や道標設置を行う予定です。



あきる野には素晴らしい登山道や散策路が多くありますが、危険木や倒木がそのまま放置され、人々が歩かなくなってしまう昔道などもあるのが現状です。

こうした道を、たくさんのハイカーが訪れたいように復活させるため、地域の方々と協働で整備し、市民のみなさんやハイカーに愛される恵みの森づくりを行っています。

ちなみに、立ち枯れの木や倒木は人間にとっては危険なものかもしれませんが、虫などの生物が冬を越すための大切な場所でもあります。そして、その虫を食べる野鳥にとっては大切な食事場所です。

倒木は路肩に移動し、通行に危険だと判断した場合は伐採処理しています。(加瀬澤)

どんぐりが、倒木に根を張り冬を越していました。春に芽を出しますように！



### レンジャーの日々



右：三郎ノ岩道窪(戸倉)の大滝  
水量は少ないですが高さがあり、見上げると素晴らしい風景です。

上：菅生若宮子ども体験の森の調査風景  
冬芽をルーペでよく見ると顔に見える？！

左：深沢の大スギ  
地域の方に案内していただきました。  
測定調査中。見事な巨木です！

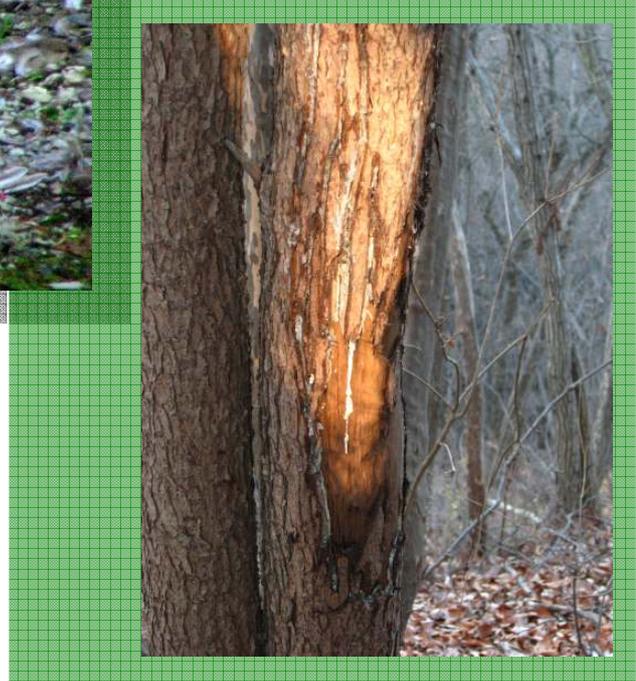


# 冬の動物トピックス



← 12月9日、市内の山林でオタカがヤマドリを捕食している瞬間を目撃しました。私に気付いたのは残念でしたが、カメラ目線でこちらをにらむ様子が感動的でした！

12月には、市内の森でツキノワグマの痕跡を確認しました。写真は木の幹に深く刻み込まれたクマの爪跡です。 →



← 冬眠しない哺乳類たちは、どうやって越冬しているのか気になりませんか？寒い中、餌も少ない季節なのに、元気に姿を現すものがあります。私はこのイタチに出会った時、大きな生命力を感じました。

流れの中で越冬しているヤマアカガエルの成体。この時期に見られる個体数は少ないですが、このように早春の産卵期を待つ個体があります。水中にいる姿を見ているだけで、こちらも寒くなってきます。 →



(パブロ)